

認知症をもつ高齢者のかたの 行方不明が増加しています！



認知症をもつ高齢者のかたの行方不明者数(全国)

年間:12,208人⇒1日あたり約33人 (警視庁 H27年度)

認知症をもつ高齢者のかたの行方不明者は年々増加、3年連続で1万人を超えました。死亡者は479人にも及び、生存率は 日を追うごとに低下します。

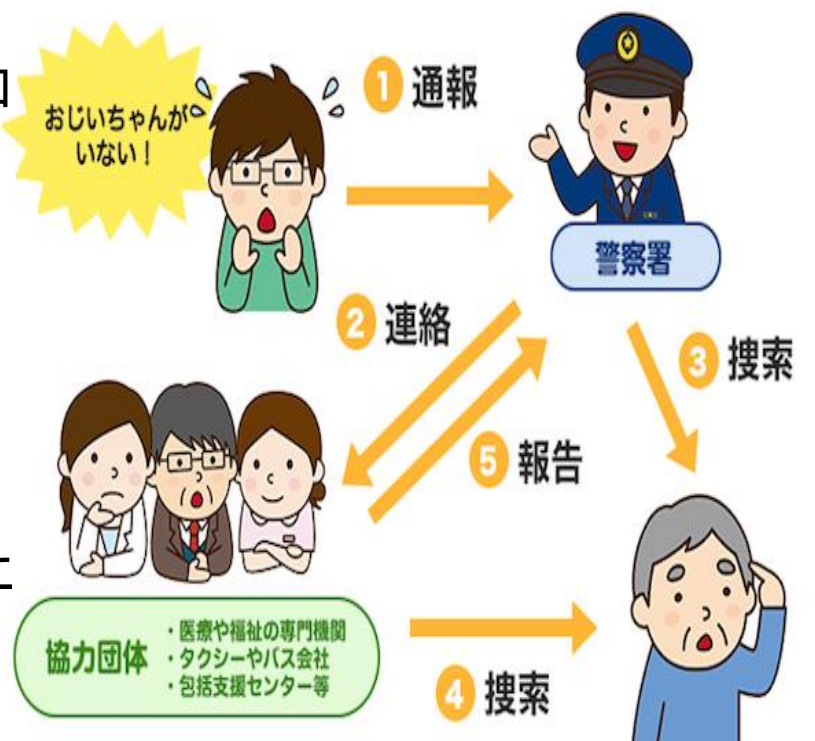
- ・当日発見⇒生存率82.5% ・翌日発見⇒生存率63.8%
- ・3~4日目⇒生存率21.4% ・5日目以降発見⇒生存率0%

そんな中、悲しい事故を防ぐために全国的に、町ぐるみで早期発見の体制づくりをしているところが増えてきています。

町ぐるみで認知症の方の行方不明を発見するしくみ！ 「高齢者見守り・SOSネットワーク」と「徘徊模擬訓練」

調布市にはまだありませんが、「高齢者見守り・SOSネットワーク」は、高齢者が行方不明になった時に、警察だけでなく、地域の生活関連団体等が捜索に協力して、すみやかに行方不明者を発見保護するしくみです。捜索に協力する地域の団体は、タクシー会社やコンビニ、銀行、宅配業者、自治会・介護サービス事業者等、日頃地域で活動している企業や住民団体等地域によって様々です。

また、ネットワーク構築にむけて、「徘徊模擬訓練」を実施している地域もあります。認知症による行方不明者が発生したと想定し、徘徊役が模擬徘徊している間に、協力団体や住民らが情報を基に発見し、声をかけ、保護するまでを体験する取り組みです。訓練を通し、認知症の理解がひろまり、対応の仕方などを実際に知ることが出来ます。また、地域の抱える課題などが見え、新たな地域活動に発展している地域も多くあります。こうした取り組みは認知症の方だけでなく誰もが安心して生活できる町づくりに繋がっています。



地域包括支援センター至誠しばさき職員紹介

看護師
きうち てつこ
木内 徹子

みまもっと担当
社会福祉士
ときひろ なつみ
時弘 夏美

認知症地域支援推進員
作業療法士
しば もとゆき
柴 元之

介護支援専門員
社会福祉士
くわばら けいこ
桑原 景子

センター長
主任介護支援専門員
すずき ゆうこ
鈴木 祐子

地域包括支援センター至誠しばさきは、地域にお住まいのご高齢者とそのご家族の為の総合相談窓口です。医療・福祉・介護の専門家が一丸となって相談に応じます。

お気軽にご相談下さい。相談は無料です。

調布市地域包括支援センター至誠しばさき

☎：042-488-1300

住所：調布市菊野台1-52-4

担当地域：菊野台1丁目／柴崎／佐須町1・2・4・5丁目／深大寺南町／深大寺東町2・3丁目